

環境・省エネの取り組みについて

(冷却設備のリニューアル工事)

フロン系冷媒 HCFC（特に R22）は冷蔵倉庫業界で最も使用されている冷媒で、当社もその例外ではありません。安全性が高く扱いやすい為に長く使われてきましたが、オゾン層破壊や温室効果ガス排出抑制の観点から、モントリオール議定書により 2020 年に生産全廃となり、段階的に使用が規制されていきます。

当社では順次脱フロン化工事を進めており、省エネ自然冷媒冷凍装置への冷却設備更新工事を実施しています。

実施年度	実施センター	更新・新設	補助金名	冷媒	CO2削減量
2011年度	豊海物流センターA棟	更新	環境省 省エネ自然冷媒冷凍等装置導入促進事業	NH3/CO2	466.2 t/年
2012年度	船橋物流センター	更新	環境省 省エネ自然冷媒冷凍等装置導入促進事業	NH3/CO2	632.5 t/年
2013年度	築港物流センター	更新		NH3/CO2	
2013年度	六甲物流センター	更新		NH3/CO2	
2013年度	川崎第3物流センター	新設	環境省 省エネ自然冷媒冷凍等装置導入促進事業	NH3/CO2	1142.4 t/年
2014年度	川崎第1物流センター	更新	環境省 先進技術を利用した省エネ型自然冷媒機器普及促進事業	NH3/CO2	950.2 t/年
2015年度	咲洲物流センター	更新	環境省 先進技術を利用した省エネ型自然冷媒機器普及促進事業	NH3/CO2	854.7 t/年
2015年度	北野物流センター	更新	環境省 先進技術を利用した省エネ型自然冷媒機器普及促進事業	NH3/CO2	530.0 t/年
2016年度	出水物流センター	新設		NH3/CO2	
2016年度	豊海物流センターB棟	更新	環境省 先進技術を利用した省エネ型自然冷媒機器普及促進事業	NH3/CO2	514.9 t/年
2016年度	箱崎第2物流センター	更新	環境省 先進技術を利用した省エネ型自然冷媒機器普及促進事業	NH3/CO2	1020.5 t/年

補助金名が記載されている工事は、補助金交付を受け実施した工事。

省エネ型自然冷媒機器とは、環境負荷の少ない自然冷媒（NH3(アンモニア)、CO2(二酸化炭素)、Air(空気)等の自然界に存在する物質）を利用した冷凍や冷蔵・空調装置の事。

2017年度は九州支社 谷山物流センターと関西・中部支社 名古屋市場事業所において脱フロン化工事を行い、2018年度以降も脱フロン化工事を進めていきます。